

あの「おばけ煙突」の実物を展示!
①「帝京科学大学 千住キャンパス」

昭和39年までこの周辺は千住火力発電所があり、4本の煙突が見る角度によって数が変わる通称「おばけ煙突」があった。現在は帝京科学大学の敷地内にモニュメントがあり、実物の煙突の一部や1/20のモデルが展示されている。



元魚屋さんの店舗を利用したお休み処
⑦「千住 街の駅」

足立区観光交流協会が運営するレトロな雰囲気満載の休憩処。館内には懐かしいおばけ煙突の写真も展示、街歩きに役立つマップを配布している。



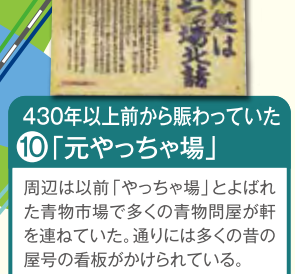
江戸時代、多くの大名が宿泊をした
⑧「千住本陣跡」

「本陣」とは江戸時代、大名が参勤交代などを行う時に宿泊する場所。今は路地裏にその当時を物語る説明板があるのみ。



430年以上前から賑わっていた
⑩「元やっちゃ場」

周辺は以前「やっちゃ場」とよばれた青物市場で多くの青物問屋が軒を連ねていた。通りには多くの昔の屋号の看板がかけられている。



まさに東京を代表する銭湯
②「大黒湯」

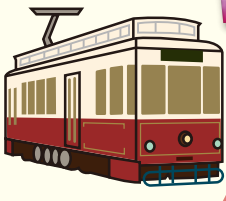
昭和4年の建築、堂々とした破風造りの外観は銭湯ファンの間では「キング・オブ・銭湯」と呼ばれている。



2本に4本なのに… なったり… 3本になる



煙突に何かいる…! これはサルじゃなくて招き猫



千住宿の歴史をチェック!
③「千住ほんちょう公園」

「千住宿」と書かれた門、「千住宿高札場由来」の説明板、千住宿史跡・旧跡案内図があり江戸時代に賑わった日光道中・宿場町の雰囲気が伝わる公園。



江戸時代から続く歴史ある商家
④「横山家住宅」

宿場町として伝馬屋敷の面影を今に伝える。江戸時代に建てられた商家。玄関の柱には明治維新の上野戦争での彰義隊士の刀傷がある。内部の見学はできません。



都内でここだけの絵馬屋さん
⑤「絵馬屋」

絵馬の他、こたわぎをもじった「地口行灯」なども制作、千住を歩く絵馬屋さんの地口行灯が数多く見られる。



駅前の尾竹橋通り沿いには沿線3商店会の都電荒川線100周年記念のフラッグがズラリ

⑨「橋井堂森医院跡」
 明治の文豪森鷗外の家、森静雄が開業した医院の跡地。鷗外は、大学を卒業して医師森林太郎として千住に住み、父と共に診療にあたっていました。



江戸時代の蔵でちょっと一息
⑪「千住宿歴史プチテラス」

江戸時代から続く地産紙問屋横山家の内蔵を移築したプチテラス。ギャラリーとして様々な展示が行われている。



えびす顔の芭蕉の像がある
⑫「奥の細道プチテラス」

足立市場入口にあるプチテラス。「矢立初めの芭蕉像」の足元の敷石は、以前やっちゃ場のセリ場に敷かれていた御影石。



江戸時代は青物市場、今は水産物専門
⑬「足立市場」

都内で唯一の水産物専門の中央卸売市場。一般でも場内の食堂と物販売場は利用ができる。



松尾芭蕉「奥の細道」はここからスタート
⑭「大橋公園」

ここ千住で矢立初めの句が詠まれ「奥の細道」は始まった。園内には記念碑と句碑があり、隅田川沿いのテラスには、奥の細道や江戸時代の川と橋の番付の壁画もある。



江戸時代の名工・伊豆長八のこて絵がある
⑮「橋戸稻荷神社」

地元でも歴史ある神社。土蔵造りの本殿には江戸時代の名工・伊豆長八のこて絵があり、普段はレプリカを展示。



大名も芭蕉も歩いた
歴史ある宿場町

今回の探検は町屋駅前をスタートして北千住周辺の江戸時代の五街道のひとつ旧日光街道沿いを散策します。懐かしい「おばけ煙突」、江戸時代に建てられた歴史ある建物、宿場町として賑わった「千住宿」の史跡、松尾芭蕉「奥の細道」始まりの地など歴史、文学にゆかりのある見どころが満載のコースです。いざ、出発進行!

町屋
 北千住
 三ノ輪

今回の探検コースは
約8km

都電荒川線100周年企画展を開催中
⑯「荒川ふるさと文化館」

荒川の歴史・文化を学べる博物館。12月11日まで都電100年の歴史を古写真・王子電車・都関係資料を通して紹介する企画展「都電荒川線に乗って」を開催中(入館料がかかります)。



●このパンフレットのデータは2011年11月現在のものです。●ウォーク中のケガ・事故等については責任を負いかねます。